

静岡大学浜松キャンパス共同利用機器センターは、大型分析機器を多数所有し、静岡大学学内共同研究施設として運営されています。今回は、走査電子顕微鏡や分光器についての理解を図ることを目的に、分析基礎講座を開催いたします。多数のご来場をお待ちしております。

静岡大学浜松キャンパス共同利用機器センター主催

第2回 分析基礎講座

2016年1月22日(金)10:00-16:30

参加料：無料

定員：100名(先着)

場所：静岡大学浜松キャンパス
佐鳴会館ホール

対象：学生・教職員・一般(どなたでも)

お問合せ先：静岡大学浜松キャンパス
共同利用機器センター
特任助教 新村千江
TEL 053-478-1756



講義

10:00-14:00

光分析機器の基礎と応用

～紫外可視・赤外・蛍光・ラマン～

10:00-12:00 光分析機器の基礎原理

13:00-14:00 光分析機器の応用

ジャスコエンジニアリング株式会社

佐藤 慎也 氏

講演

14:15-16:30

1. バイオ領域の電子顕微鏡

(14:15-15:15)

新潟大学医学部 教授

牛木 辰男 氏

バイオ研究と顕微鏡とのかかわりの歴史を紹介しながら、透過電子顕微鏡と走査電子顕微鏡がどのように役立ってきたかを概観し、最近の動向と今後の可能性について考える。

2. 広がるSEMの可能性

～ここまで進んだ大気圧走査電子顕微鏡～

(15:30-16:30)

日立ハイテクノロジーズ 主任技師

大南 祐介 氏

大気圧下に配置された試料の走査電子顕微鏡(SEM)観察技術を紹介し、大気下での多種多様な材料の観察事例と実状態のin-situ SEM観察を目指した取り組みを報告する。